

【所属名：総務部企画定住課】

【会議名：第1回糸魚川市総合計画審議会】

会 議 録

作成日 令和2年8月12日

日	令和2年8月7日(金)	時間	10:00~12:00	場所	市民会館 3階会議室
件名	<ul style="list-style-type: none">・市長あいさつ・委員、事務局紹介 掲載・会長、副会長選出・諮問・審議事項<ul style="list-style-type: none">(1)第3次糸魚川市総合計画策定について(2)第3次糸魚川市総合計画市民等アンケートについて・参考資料説明 糸魚川市の現状について				
出席者	<p>【委員出席者 21人】 伊藤麗、齋藤伸一、渡邊秀幸、榎木園薫、青木和人、松本香織、榊厚志、猪又千恵子、森尻克志、小野雅子、丸山理恵、木嶋貢、松木美沙子、猪又史博、渡辺康太、磯貝誠、稲葉淳一、鈴木秀城、山岸喜治、斉藤直文、田中昌美</p> <p>【委員欠席者 6人】 小林修、山本習子、保坂史子、龍見和弦、猪又直登、水嶋聡</p> <p>【事務局出席者 5人】 企画定住課（渡邊課長、中村課長補佐、内山係長、松澤主査、縄主査）</p>				
	傍聴者定員		一人	傍聴者数	2人

会議要旨

<p>1 開会 (10:00)</p> <p>企画定住課中村課長補佐により進行。</p> <ul style="list-style-type: none">・事前配付資料、当日配付資料の確認。・会議の傍聴の取扱いについて、原則公開とし、必要に応じて非公開とすることができるものとする。傍聴の取扱いについては、市議会の傍聴規則を準用する。・会議録作成のため、会議内容の録音について了承願う。
<p>2 市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none">・本日は、公私ともに大変ご多用のところ、第1回総合計画審議会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。 <p>まずもって、皆様には、日ごろから市政発展のため、様々なまちづくりの舞台でご活躍いただいておりますことに対し、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。</p> <p>また、この度は、総合計画審議会の委員をお願い申し上げましたところ、快くお引き受けいただき、感謝申し上げます。</p> <p>さて、現在の第2次総合計画は、平成29年度からスタートし、5年ごとに計画を見直</p>

すこととしたことから、本日お集まりの皆様へ、令和4年度から始まる第3次総合計画について、ご審議をお願いしたいものであります。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の意識や社会のシステム全体が、大きく変わろうとしております。

先を見通すことが困難な時代ではありますが、人々の価値観の変化や働き方改革の進展、企業の拠点分散化などにより、人や企業の地方回帰の流れも出てきております。

当市においては、少子高齢化や人口減少など、乗り越えなければならない課題も多くありますが、このような時代の大きな転換点にこそ、これから当市が目指すべき方向性を明確にすることで、適切な表現ではないかもしれませんが、ピンチをチャンスに変えていく必要があります。

審議会委員の皆様におかれましては、まちづくりに関する建設的なご議論をいただき、多くの先人が不断の努力により築いてくれた「ふるさと糸魚川」を愛し、より良いふるさととして子孫に引き継いでいくことができるよう、持続可能なまちづくりを進めるための指針である、総合計画の策定にお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

公私ともご多用のところ誠に恐縮ではありますが、どうかよろしくごお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員、事務局紹介

- ・名簿順に自己紹介。その後、事務局職員の自己紹介。

4 会長、副会長選出

- ・糸魚川市総合計画等審議会条例に基づき、会長1名、副会長1名を委員の互選により選出する。選出方法に意見がなかったため、事務局からの提案により、会長には名簿22番の鈴木秀城さん、副会長に名簿18番の保坂史子さんを推薦し、委員の賛同により決定。

(会長あいさつ)

長期間にはなりますが、委員の皆様からご協力をいただき、第3次糸魚川市総合計画をまとめていきたいと考えております。

私自身は、前回の総合計画策定の際にも審議会委員を務めさせていただきました。今回初めての方も大勢いらっしゃると思いますが、委員の皆様から忌憚のないご意見をお願いいたします。

審議会の位置付けを私なりに考えてみますと、審議会は作成委員会や検討委員会とは違うわけで、総合計画という市の最も重要な計画を審議するので、まずは事務局で市長の想いや理念をまとめて表現してもらい、それに対して、委員がそれぞれの立場や専門性を生かして、将来の糸魚川市がこんな風になれば市民が幸せになれるということを考え、それに向かってアイデアを出すのが役割だと思っています。

皆様から活発なご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

5 諮問

- ・米田市長から鈴木会長へ、第3次糸魚川市総合計画の案答申について諮問(諮問文を渡す)。

6 審議事項

・以降、糸魚川市総合計画等審議会条例第6条第1項の規定に従い、鈴木会長に議長をお願いし進行。

(1) 第3次糸魚川市総合計画策定について

・企画財政課縄主査から、資料No.1に基づき説明。

【質疑・意見】

(委員)

今ほどの方針の説明の中に、第3次総合計画に向けてメリハリのある計画ということで説明があったが、市として現行計画の評価をどのように考えているか。また、第3次総合計画に向けて、市としてどのような課題があり、特に重点的に取り組むべきポイントをどのように捉えているか。

(事務局)

現行計画の評価については、お手元に配付した基礎資料の最初に第2次総合計画でKPIとして設定した数値の中間目標の結果を資料として付けさせてもらった。

これは行政側で数値的に見た評価であり、ここから見えてくるところとあわせて、今後実施するアンケートの結果で、前回との比較を見ながら、事務局側で現行計画の評価案を作成し、審議会に示させていただきたい。

また、第3次総合計画において重点的に取り組むポイントについては、今後の検討になるかと思うが、糸魚川市に限らず全国の地方都市において人口減少という課題に直面しており、今後それがますます加速してくることが見込まれている。第2次総合計画でも人口減少問題を重点課題としているが、この課題は変わらないのではないかという認識である。

(会長)

ほかに質疑や意見が無いようであれば、この件について了承するかお諮りします。

第3次糸魚川市総合計画策定について了承することについてご異議ございませんか。

(委員)

異議なし。

(会長)

ご異議がないようなので第3次糸魚川市総合計画策定について了承する。

(2) 第3次糸魚川市総合計画市民等アンケートについて

・企画定住課縄主査から、資料No.2に基づき説明。

対象は前回と同様、15歳以上の市民3,000人、中学生（3年生）304人を予定。

市民アンケートについては、前回との比較ができるよう調査内容は原則として同じ項目とする。

今回新たに市内高校2年生（339人）及び市内企業（約130者）、市外在住者に対してもアンケートを実施する。

【質疑・意見】

(委員)

市民アンケートを市民3,000人に行うとのことだが、前回アンケート時と比較して、高齢化も過疎化も一段と進んでいるような状況である。特に中山間地域での人口減少が著しいため、そういった地域の意見が全く反映されないということがないようにしてもらいたい。また、能生、青海、糸魚川の地域バランスも配慮してもらいたい。

もしわかれば、平成27年に実施したときの地域バランス等を教えてもらいたい。

(事務局)

3地域で人口比率が異なることから、その人口比率に応じて対象者の3,000人を割り振る。年齢バランスも今の人口バランスに近い形で抽出されるし、男女の比率もほぼそういう形で抽出される。

参考までに、本日お配りした「第2次総合計画策定に関する市民アンケート調査報告書(一般用)」の4ページに前回実施したアンケートの回答ベースではあるが、回答者の地域バランスが掲載されているので、参考までにご覧いただきたい。

(会長)

先ほど委員が言われた、山間部の人口が少ない地区への特別な配慮は行わず、糸魚川全体の総数の中から3,000件を抽出するということか。

(事務局)

あくまで地区分けは行わず、全体の中から抽出する。

(委員)

2点質問する。まず1点目は、高校生アンケートの対象が2年生ということだが、3年生ではダメなのか、なぜ2年生なのか。2点目は、市内関係団体との意見交換を行うとの説明を受けたが、関係団体とはどのような団体を想定しているのか。また、個々の団体との意見交換はどのような方法で行うのか。

(事務局)

高校2年生を対象としたのは、3年生は受験や就職等を控えて何かと忙しいという点、また、アンケートを実施する10月の時点で、高校2年生も自分の進路がだいたい決まっていると思われることから、高校2年生を対象とした。

2点目の関係団体との意見交換は、総合計画のそれぞれの分野について、市内で活動する団体がある。例えば消費者協会や交通安全協会などがあり、資料にも関係団体を例示させてもらった。

意見聴取の方法については、同じ様式のシートに団体としての現状と課題や今後の方向性をまとめてもらう方式を考えている。今後団体で行われる総会や会合等で議論してもらい、総合計画の基本計画に団体からの意見を反映させたい。

そうすることで、各団体と市で同じ方向に向けて官民協働で取組む形の計画にしたい。

(委員)

企業のアンケートは130者程度を対象に行うと説明があった。商工会議所でも景況調査等行うが、回答率は5割に満たない。130者の半数では70者程度。市内には、大企業もあれば、中小の企業もある。もう少し調査数を増やしてきめ細かく実施してもらいたい。

(事務局)

130者は、市の商工観光課企業支援室で実施しているアンケートと同程度ということで想定していたが、今後、商工会議所で実施している景況調査の対象企業数等も参考にして、できるだけ多くの企業にアンケートが実施できるようにしたい。

(委員)

企業アンケートについて、企業誘致の観点から市外企業のニーズ調査は実施しないのか。コロナ禍で、サテライトオフィスやリモートワーク等で地方へのニーズが高まっているチャンスである。外部の企業誘致、サテライトオフィスの誘致に向けて、外部の企業からの意見を取り入れた方が良いのではないか。

(事務局)

我々も外部の企業からのニーズを把握したいと考えている。ただ、現在のコロナ禍において、市外の企業にアンケートを実施しても、すぐにアプローチするということができない状況であり、今の段階では市外企業向けのアンケートは実施しない意向である。

ただ、リモートワークについては、これからではあるが市外企業から糸魚川市において実

施してもらうための取組を進めている。今後、そのような企業からもニーズを聞き出し、計画に意見を取り入れていきたい。

(委員)

糸魚川市在住の外国人も増えてきている。企業の実習生として来ている人や日本人と結婚した人など、滞在期間も理由も様々ではある。言葉の壁はあるかもしれないが、国際交流協会としてもサポートするので、外国人へもアンケートを実施してもらいたい。

(事務局)

どういった方法がよいのかということも含めて、今後前向きに検討していきたい。

(委員)

企業アンケートの意見は第2次総合計画のどの部分に反映されているのか。

(事務局)

第2次総合計画を策定したときには企業アンケートは実施しておらず、今回初めて実施するもの。

企業アンケートの結果については、第2次総合計画で言えば、第3章の産業部門に反映される。第2次総合計画の産業部門については、商工会議所から意見をいただき、作成している。第3次については、企業から実際にアンケートを実施し、もう少し細かく企業が考えている課題、もしくは今後の方向性や思っているところを把握し、計画に反映させたい。

(委員)

このアンケートの結果をもとに具体的にどういうことをしたいのか。

(事務局)

企業からの率直な意見を踏まえ、市の産業政策をどのように進めていけばいいのかということを経済計画に盛り込みたい。

(会長)

アンケートは課題や問題点を抽出したり、現状を把握するのに有効なツールであるので、ぜひやっていただきたいと考えるが、いろいろな人の意見を把握する手法はアンケートだけではない。関係団体へのヒアリングや他で実施しているアンケートなども活用してもらいたい。

また、このアンケート内容を見るととてもフェアな設問内容となっている。アンケートは課題抽出に向けた一つのツールなので、今後どこに重点を置いてまちづくりを進めるか、重点的な取組を掘り起こすような設問もあっては良いのではないかと。

(事務局)

総合計画は行政全般にわたる計画のため、全ての項目を網羅する必要があり、設問数も多く、フラットな聞き方となっている。これまでに実施してきた市民アンケートと比較分析することで、市民からの課題を抽出し、また市長の意向も把握して、第3次総合計画における重点事業をまとめていきたい。

なお、今回市民アンケートに新たな項目として、今後市に特に取組を進めてほしい施策を選んでもらう項目を設けてみたので、その設問により市民の意向を把握したい。

(委員)

市民アンケートの問9で今後の市民の費用負担と行政サービスのあり方について聞いている。この問いは非常に重要だと思うが、選択肢の4択だけでは、単純に割り切って回答できない場合もある。この4択以外にも、現状の行政サービスの効率化に向けた意見や現在の行政サービスの評価について、フリーコメント欄を設けてもらいたい。

また、今回新たに追加されたという問6で住民の意向を聞くことは大切である。できれば、市民、企業と行政のコミュニケーションの場、事業の評価やお互いの役割について、3者でコミュニケーションをする必要があると思うので、フリーコメントで記述できる項目を設けてもらいたい。

行政の効率化を進めるために、例えば今日も紙で資料をいろいろもらっているが、これをIT化することもできると思う。IT化は一例だが、これまでの行政サービスの何を効率化して何を簡略化するのか市民の意見を聞くフリーコメントを設けてもらいたい。いきなり、費用負担と行政サービスの話になるよりも住民になじみやすいと考える。

(会長)

時間も迫ってきたが、農業や漁業をやられている立場で何か意見があれば伺いたい。

(委員)

農業に限らず糸魚川市では高齢化が進んでいる。アンケートの年齢層をどのように取るのかわからないが、若い年代、2,30代の意見を取り入れてほしい。

(会長)

今回配付されたアンケート案をベースに各委員から出た意見を反映し、アンケートを実施してもらいたい。なお、変更した点については、メール等で委員に教えてもらえるのか。

(事務局)

今回いただいた意見を反映し、アンケート案を修正させていただく。また、9月議会で市議会に対してもアンケート案を説明する。議会からの意見も反映した物を後日皆さんに配付させよう。

アンケートについてお気付きの点があれば、今月中に担当へ直接ご連絡いただきたい。

(委員)

中高生アンケートの間1で糸魚川市が暮らしやすいまちかという設問について、中高生の大半は糸魚川しか知らないのに、聞く意味はあるのか。また、間2の糸魚川市が好きか嫌いかという設問も何か違うような気がするので、検討してもらいたい。

(会長)

アンケートに対するご意見、ご質問については、8月末までに企画定住課へ連絡をお願いします。第3次糸魚川市総合計画市民等アンケートについて了承することについてご異議ございませんか。

(委員)

異議なし。

(会長)

ご異議なしということで第3次糸魚川市総合計画市民等アンケートについては了承する。

7 参考資料について

- ・企画定住課内山係長から糸魚川市の人口の現状について説明。

【質疑】

(会長)

時間も限られるが、今ほどの説明について、ご質問等はございませんか。

特に質問は無いようですが、今後の審議のなかで必要に応じて説明をお願いします。

8 その他

- ・企画定住課内山係長から次回以降の開催について、開催の時間帯について意見照会。
多くの委員からの要望があれば、夜間の開催も可能だが、特に意見が無いようであれば、本日も同様に平日の昼間に開催したいと考えている。

(会長)

特に意見は無いようなので、基本的に事務局案の平日昼間開催とし、会議開催前に日程調整を行うこととする。

ほかになければ会議を閉じさせていただく。

閉会のあいさつを事務局の渡邊企画定住課長からお願いします。

9 閉会あいさつ

(渡邊企画定住課長)

長い時間にわたりご審議いただきありがとうございました。いろいろなご意見をいただき、われわれが気付かない点もご指摘いただいた。今後ともこのような雰囲気です会を進めていただければと思うので、引き続きよろしくお願ひしたい。

以上